令和2年度　学校関係者評価委員会　議事録

学校法人池田学園　東京服飾専門学校

学校関係者評価委員会

1.学校関係者評価委員会（令和　3 年度7月）

・地域のコロナ感染症感染拡大によって本年度は各委員へ、自己評価資料を郵送し各委員が在宅の形で評価意見をいただくこととした。

＜学校関係者評価委員＞

大澤　道雄　一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会　理事長
浜浦　章雄　（株）エレガンス代表取締役
池田 竹谷　㈱オルウェイズ
山下 敏秀　企業等委員　㈱たかくら新産業
若林 由美　高知大学
若林 京子　保谷中学校
大森　正樹　（株）A-net

2.学校関係者評価と意見

1.教育理念
学校の理念に基づいた教育指導は、非常によく計画、実行されていると感じます。 パンフレット等にあるメッセージから、理解できます。 学科編成や講師の授業対応の様子から、社会経済のニーズ等を踏まえた将来構想は感じ取れます。 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想については、まだまだ、改善の余地あり、外部環境、市場経済、 マーケット動向、企業課題はより現実的に理解すべき点を感じます。業界ニーズの多様化に対応するのは困難ですが、努力継続は必要。現実の業界はもう少し広く感じます。 これまでの取り組みの様子から、将来を見ていると感じられます。 世の中の急激な変化にも対応していると思います。

2.学校運営
教職員の人員配置に工夫がされたことがわかります。 学生数の増加に伴う、教室設備、教材備品の追加などを不備不足なく行うこと。また教職員の増員について、適正 と専門分野の指導力について考慮の上、教育サービス、人材育成の質を高めていく重要で様々な難しい課題をクリアしていくことを望みます。 新型コロナ感染症による教育現場の対応については、感染症対策を最優先とした準備と対応をはじめ、教職員 の細やかな指導や学生個人個人の協力などにおいて、高い評価ができる。 また、学びを止めない為の施策も十分に機能したと思われ、評価が出来る。

3.教育活動

オンライン授業の充実、学習時間の確保と継続は適正て゛あったか? 学生生活において、新型コロナ感染症予防対策下においても可能な限り年間行事の開催を行なって欲しい。 関連分野の企業・関係施設棟や業界団体等との連携については、また゛改善の余地あり（新しい団体、企業との 取り組みも必要）
企業との連携も、コロナ禍て゛自粛傾向て゛あったかと思いますか゛、少しす゛つ活発化して欲しい。10年後、20年後を見据えた、人材育成における施設備品の準備において、テ゛シ゛タルツールの導入なと゛、積極的 に進めて行って欲しい。

4.学修成果

学修成果として就職達成を目指し、企業人事の方による企業説明会、OBOG訪問、1年次からの就活ガイダンス 授業など担任・就活担当によるサポートを行っている。さらにエントリーシートに関する必要な資料作成に撮影機会 の校内撮影スタジオ利用、カメラマンによる撮影を可能にしている。 一年生からの就職に対する意識付けは重要と考えます。そのために就活担当によるサポートを行っている。さらに エントリーシートに関する必要な資料作成に撮影機会の校内撮影スタジオ利用、カメラマンによる撮影を可能にし ている。一年生からの就職に対する意識付けは重要だと考えます。 コロナ禍で新たな支援制度の試みが有効にはたらけば良いと思うので、力を入れていって欲しい。 学生自身の実力の底上げが必要に思います。 コロナ感染症による、緊急事態宣言によって景気後退が見られる中で、求人数も各企業ともに減少気味かと思い ます。学校としての出来る限りの対応をとっていただきたい。 検定の合格や資格の取得については、検討の余地を感じます。

5.学生支援

就職指導室、就職指導担当者を設けて全学科に1年次から就職活動ガイダンスをカリキュラムに用意し、各学科 ごとに応じた対面のきめの細かい就職活動支援と、ホームページを活用したリモートでの支援体制を整えている。 就職活動状況は就職指導担当と連携してクラス担任によって面談やアンケートを通して把握や相談に努めてい る。 感染症拡大の予防もあり、就職活動においてもリモート支援の必要性、学生の活動支援として、SkypeやZOOMな どのツールが就職活動用のスペースで常に利用可能になっています。 企業が積極的な採用を控えている中。生徒への支援は大変ではあるが、より大切に。生活環境の急激な変化に対応できるよう定期的に行っている担任面談では、常に学校生活だけでなく私生活の 相談にも乗る体制を整えている。
体制は充実していると思われます。 希望をもって進学してきたのに挫折をしてしまうのは悲しいことです。支援の限度はあると思いますが、できる限り のご指導をお願いします。

6.教育環境

設備について、気が配られていると思います。地震などについても長期的に検討すると良い。 生徒数の増加にともない、より十分な対応をとっていってほしい。 インターンシップや海外研修などについては、コロナ禍にあり機会喪失が多いことと思います。その辺りのフォロー 体制についても検討いただきたい。

7.学生の受け入れ・募集

学生募集については、適正に行われていると思います。 大々的な広告やイベントなどを行わず、さまざまな細かい工夫がされていると感じる。 アパレル業界の活性化を担う若者を国内外問わず、選考していると思う。 学納金につては、常からの校内設備の納入先業者の選定、広告費の削減などの経営努力をしていると思い ます。

8.財務

適正な運営が行われていると思います。 学生数の安定的、かつ上向いている状況から、適正な運営がされていると思います。

9.法令等の遵守

とくにご意見なし。

10.社会貢献・地域貢献

一般財団法人日本ファッション教育振興協会が実施する「ファッションビジネス能力検定」、「パターンメーキング 技術検定」、「ファッション色彩検定」「ファッション販売能力検定」の試験会場として提供をしている。 より地域と学生の交流等を促して、貢献して欲しい。

11.国際交流（必要に応じて）

留学生の受け入れについては、JLPTによる日本語能力試験・N2相当以上の語学力を有する学生に対して行い、学修・生活指導については担任が日本人学生と同じ様に個別に対応している。
入管より適正校として認定されているのは評価できます。才能ある海外の学生はたくさんいるかと思います。積極的な受け入れ、国内の学生の刺激になるかと思います。
コロナ禍であり、しばらくは慎重な取り扱いを行い、無理はしない方がよいと思います。
大変難しい社会情勢の中、学校運営にしっかり取り組んでおられる様子がよくわかります。きめ細かい教育目標を 掲げて、日々教育活動に専念しておられる皆様のご苦労に敬意を表します。教育活動はなんといっても教育する者、される者の底にながれる愛情が根本だと思います。教育の目標から実践 へ、必ず立派な成果が得られると存じます。
緊急事態宣言発令下のもとでの現状把握の必要性が大切。教職員の指導力向上を引き続き継続して、学生のレベルアップを促して欲しい。